

SSCI-Netの活動 —この10年のアレルギーの推移—

松永 佳世子*1,*2,*3 / 杉山 真理子*1

1. はじめに

今回、特集「化粧品の安全性評価の歴史と今後」において、厚生労働省科学研究としてはじまったSSCI-Netの10年の活動で特筆すべき事案や近年の動向など化粧品技術者が知っておくべきことを執筆する役割をいただいた。日本の化粧品皮膚障害の歴史¹⁾、一般社団法人(一社)SSCI-Netの設立にいたる経緯とその後の活動状況についてはすでに2021年度まで報告している²⁾³⁾。

本稿では原因化粧品内訳、原因アレルギーが確定できた症例における原因化粧品とアレルギーについて、(一社)SSCI-Net設立前の2013年度と2014年度の2年間と、設立時2016年度から2022年度までの7年間のデータを比較し考察を加えた。

2. 2013年度2014年度化粧品・薬用化粧品のアレルギー性接触皮膚炎疫学調査²⁾

安全で安心な質の高い製品を自国および世界に販売していくには、医師が市販後の健康被害を早期に把握し、医療者/企業、行政に情報を共有し活用する産官学の情報ネットワークが必要と考えてきた。当初は、化粧品等皮膚安全性症例情報ネット: Skin Safety Case Information Network of Cosmetics and Other Products (SSCI-Net) と称し、2013年度厚生労働科学研究費補助金 医

薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業(医薬品等規制緩和・評価研究事業)化粧品等のアレルギー確認方法確立に関する研究(H25-医薬-指定-005)を開始し、2014年5月から「化粧品等皮膚安全性症例情報ネット」の画面より医師入力を開始し、2015年度にAMED研究へ移行した。

2.1. 方法

2013年4月から、化粧品等の皮膚障害事例情報は調査票に記入し事務局へ送付された紙ベースの情報の薬疹を除き、パッチテストあるいはブリックテストで確定されたアレルギー性皮膚障害事例を集計した。2014年4月からSSCI-Netシステムを利用してwebsiteから症例情報入力を開始し、紙ベースの情報と両者を集計した。調査項目は症例の年齢、性別、皮膚障害の主となる診断名、原因製品、原因アレルギー(調べている場合)、診療日数が30日を超えるか、入院の有無とした。調査期間は2013年4月より2015年3月までにパッチテスト、ブリックテストで原因製品を確定できた症例とした。

本研究は、日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会の共同研究費、厚生労働科学研究補助費、並びにAMED(15mk0101022h0103)の研究費を使用し、藤田医科大学医学研究審査委員会の承認を

得て行った。

2.2. 結果

SSCI-Net (AMED) に登録された2013年度、2014年度の2年間のアレルギー性皮膚障害事例は全体で1225件あり、アレルギー性接触皮膚炎は1142件、93%を占めた。この中で、764件、62%は化粧品が原因であった。化粧品による経皮感作後に、同じあるいは類似の蛋白質を経口摂取することで生じた即時型アレルギーは6例あり、加水分解コムギ末による症例であった。

アレルギー性接触皮膚炎764件の原因化粧品内訳を表1に示した。最多から5位までは、シャンプー126件(16%)、ヘアカラー72件(9%)、化粧水72件(9%)、洗顔料65件(9%)、美容液64件(8%)であった。

原因成分別件数を表2に示した。最多の成分は白斑を生じた美白剤ロドデノールで28件14症例、すべて2013年度の症例であった。次に多かったのは酸化染毛剤のパラフェニレンジアミンで16件13症例であった。メチルクロロイソチアゾリノン/メチルイソチアゾリノン(MCI/MI)は10件7症例、MIが7件7症例あった。BG(1,3-ブチレングリコール)は7件3症例、アルプチンは4件3症例であった。

3. (一社) SSCI-Netとは

2016年4月にAMED 研究の成果として、正式

■表1 アレルギー性接触皮膚炎原因化粧品内訳

種類	2013 (%)	2014 (%)	合計 (%)
シャンプー	71 (16)	55 (17)	126 (16)
ヘアカラー	19 (4)	53 (16)	72 (9)
化粧水	48 (11)	24 (7)	72 (9)
洗顔料	43 (10)	22 (7)	65 (9)
美容液	41 (9)	23 (7)	64 (8)
化粧下地	19 (4)	20 (6)	39 (5)
乳液	26 (6)	13 (4)	39 (5)
クリーム	20 (5)	15 (5)	35 (5)
日焼け止め	16 (4)	12 (4)	28 (4)
ファンデーション	13 (3)	14 (4)	27 (4)
整髪料	19 (4)	7 (2)	26 (3)
メイク落とし	17 (4)	6 (2)	23 (3)
リップクリーム	8 (2)	7 (2)	15 (2)
練り歯磨き	7 (2)	6 (2)	13 (2)
石鹸(手・体用)	9 (2)	3 (1)	12 (2)
ネイル用品	8 (2)	3 (1)	11 (1)
ボディウォッシュ	5 (1)	5 (2)	10 (1)
パーマネント・ウエーブ用剤	6 (1)	2 (1)	8 (1)
マスク・バック	6 (1)	2 (1)	8 (1)
トリートメント	0 (0)	7 (2)	7 (1)
ハンドクリーム	5 (1)	2 (1)	7 (1)
マスカラ	3 (1)	3 (1)	6 (1)
チーク	4 (1)	2 (1)	6 (1)
口紅	3 (1)	3 (1)	6 (1)
アロマオイル	2 (0)	3 (1)	5 (1)
コンディショナー	2 (0)	3 (1)	5 (1)
フェイスパウダー	4 (1)	1 (0)	5 (1)
フェイスマスク	2 (0)	2 (1)	4 (1)
美容ジェル	2 (0)	1 (0)	3 (0)
ヘアトニック	0 (0)	2 (1)	2 (0)
アイシャドウ	1 (0)	1 (0)	2 (0)
リンス	1 (0)	1 (0)	2 (0)
マッサージクリーム	0 (0)	1 (0)	1 (0)
グロス	0 (0)	1 (0)	1 (0)
アイライナー	0 (0)	1 (0)	1 (0)
マウスウォッシュ	0 (0)	1 (0)	1 (0)
不明	3 (1)	4 (1)	7 (1)
総計	433	331	764

被害の原因になった製品について、皮膚アレルギーテストで検討され確定したアレルギー性か、そ

これ以降の閲覧を希望の場合は、本誌をご購読ください。